

※展覧会の名称は変更する場合があります。

開館20周年記念展 I 細見コレクションの江戸絵画

はじまりは、伊藤若冲

平成30年 1月3日(土)－2月25日(日)

細見美術館

開館20周年記念展 I 細見コレクションの江戸絵画

はじまりは、伊藤若冲

平成30年 1月3日(水)
—2月25日(日)

細見美術館

〒606-8342
京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
TEL 075-752-5555・FAX 075-752-5955
<http://www.emuseum.or.jp>

開館20周年記念展

京都・岡崎の地に開館して20年。平成10年(1998)以来、細見美術館は日本美術の魅力を多角的に発信し続けてきました。なかでも「若冲」と「江戸琳派」は多くの方に熱いご支持をいただき、今や細見コレクション、ひいては日本美術を象徴するジャンルに昇華したといえましょう。

開館20周年を記念するこのたびの展覧会では、美術館とともに歩んできた彼らの作品を続けてご覧いただき、江戸時代絵画の

豊潤な世界を改めてお伝えしたいと思います。

皆様に感謝を込めて、
細見美術館が贈る美の
祝宴をお楽しみください。



20th Special Exhibition in Celebration of the
Anniversary of the Hosomi Museum

若冲へのいざない
——
細見美術館で心ゆくまで



細見コレクションの江戸絵画 はじまりは、伊藤若冲

平成30年 1月3日(水) — 2月25日(日)

伊藤若冲(1716~1800)はその独創的な絵画様式で、それまでの京都画壇の常識を打ち破り、旧風革新と呼ばれる18世紀の新たな潮流を切り開きました。

一方、古代中世の宗教美術中心だった細見コレクションが、江戸時代絵画に覚醒する扉を開いたのも若冲です。また、細見美術館での若冲との出会いが日本美術への入り口だったという方も少なくありません。節目の年にコレクションの原点、若冲を総覧し、新たなスタートの幕開けとしたいと思います。



伊藤若冲 雪中雄鶏図



伊藤若冲 瓢箪・牡丹図



入館料：一般 1,300円(1,200円)
学生 1,000円(900円)
※()内は20名様以上の団体料金

開館時間：午前10時～午後6時
(入館は、午後5時30分まで)

会場：細見美術館

休館日：毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)